

科目区分	教養科目	授業科目名	中国語 II			科目コード	26B013	担当者	堺 蘭			担当形態	単独
対象学科・コース	生活創造学科	配当年次	1年次	開講学期	秋学期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件			
授業形態	演習	履修条件	「中国語 I」の単位を修得していること								教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		実務の経験内容及び科目との関連									科目に含めることが必要な事項		

授業の主題	ある程度流暢に中国語の会話などができるようになる。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	講義での不明点等は、適宜受け付けます。
授業の方法	基礎文法を理解した上で繰り返し会話を練習する。	アクティブ・ラーニングの実施方法	

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	否定文「没有」 実用会話練習	テキストを参考にしながら会話を練習する。	第9回	「会」+動詞、結果補語	会話練習	
第2回	反復疑問文 実用会話練習	テキストを参考にしながら会話を練習する。	第10回	中国語の中の外来語	会話練習	
第3回	助動詞「要」、「能」の使い方	会話練習	第11回	中国語の中の日本語	会話練習	
第4回	長崎観光名所の中国語訳	会話練習	第12回	中国語の中の方言	会話練習	
第5回	助動詞「能」+動詞 実用会話練習	テキストを参考にしながら会話を練習する。	第13回	中国人の姓と名前	会話練習	
第6回	比較に用いる「比」の使い方	テキストを参考にしながら会話を練習する。	第14回	人民元と日本円の数え方	会話練習	
第7回	「开玩笑」、「談笑話」	会話練習	第15回	基礎文法の総復習	会話練習	
第8回	疑問文「怎么样」、「什么样」 実用会話練習	テキストを参考にしながら会話を練習する。			事前・事後学修時間 (分/授業1回)	45分/授業1回

教科書 [書名/著者名/出版社]	未来をひらく入門中国語/劉頌浩・町田茂/朝日出版社	受講生へのメッセージ	一年間の中国語の勉強を通じて、ある程度の中国語の会話力、文章の読解力を身に付ける。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

